

週間漁海況情報—第43号

平成24年10月29日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

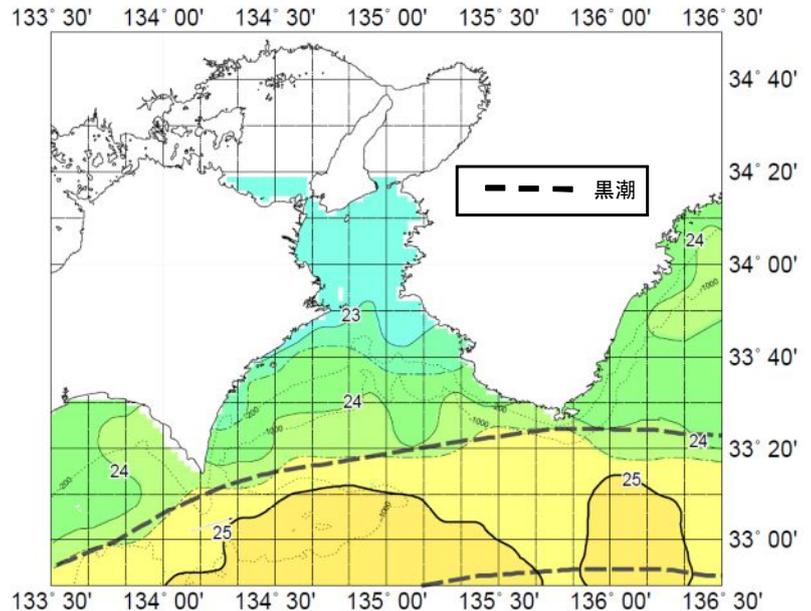
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.10.29）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、25℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で22℃台、紀伊水道で22～23℃台、海部沿岸で22～24℃台である。紀伊水道外域への顕著な暖水流入は確認できない。

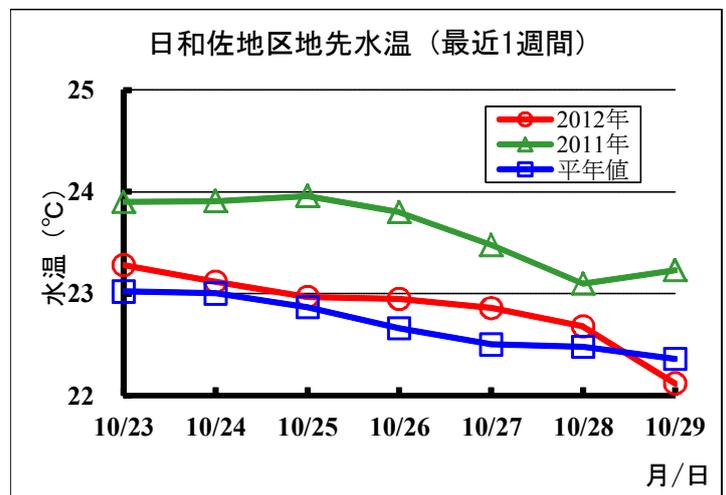
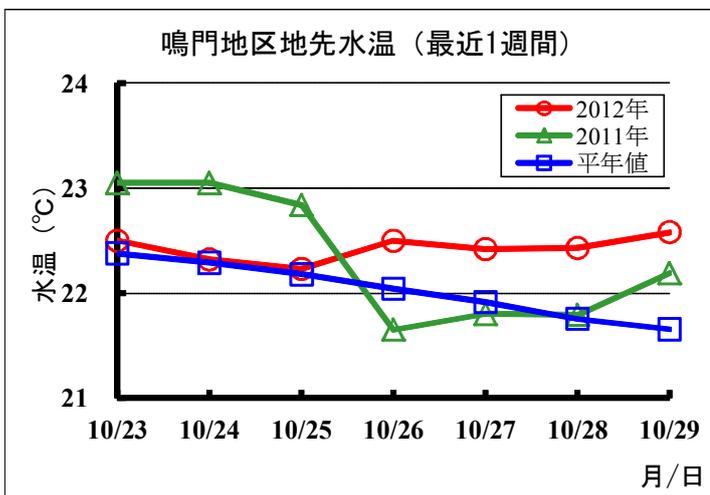


漁業調査船「とくしま」で10月15、22及び24日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、水温は表層～30m層で「やや低め」の27.6～28.1℃、60m層で「平年並み」の25.6℃、100m層で「やや低め」の19.6℃であった。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の22.2～22.6℃、日和佐地区は「平年並み」の22.1～23.3℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の23.0～24.1℃で推移した。

海部沿岸海区観測結果

観測日		水温						塩分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
10/15, 22, 24	今年値	27.9	28.1	28.0	27.6	25.6	19.6	33.5	33.6	33.7	33.8	33.9	34.6
	平年偏差	-0.5	-0.5	-0.5	-0.5	-0.1	-0.5	0.1	0.0	0.1	0.0	-0.1	0.0
	前年偏差	-0.5	-0.7	-0.9	-1.2	-1.6	-3.2	0.4	0.3	0.1	-0.2	-0.3	0.0



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが1.0トン（1日1隻あたり33kg）、大主体にタチウオが0.5トン（同23kg）、小主体にキハダが0.4トン（同63kg）、中主体にアカムツが0.2トン（同18kg）、サバフグが0.2トン（同25kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にサバ類が0.2トン（同34kg）、マアジが0.3トン（同23kg）、マルアジが0.2トントン（同14kg）、アオリイカが0.2トン（同4kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にタチウオが1.2トン（同36kg）、アオリイカが0.9トン（同11kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが67.5トン（同563kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 10月22日～10月28日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	31	1,019	33	大主体
		タチウオ	20	460	23	大主体
		キハダ	7	439	63	小主体
		アカムツ	13	238	18	中主体
		サバフグ	8	201	25	大主体
小型定置網	海部沿岸	サバ類	6	203	34	小主体
		マアジ	11	257	23	小主体
		マルアジ	15	207	14	小主体
		アオリイカ	49	206	4	
釣り	海部沿岸	タチウオ	32	1,162	36	大主体
		アオリイカ	85	896	11	
パッチ網	紀伊水道	シラス	120	67,500	563	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年10月24日～10月30日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にサバフグが0.5トン、小型定置網で、カマス類が0.4トン、小主体にタチウオが0.9トン、小主体にマアジが0.2トン、マルソウダが0.5トン、釣りで、小主体にタチウオが0.2トン、海部沖合で中主体にカツオが1.5トン、特大主体にキハダが1.4トン、紀伊水道では、釣りで、中主体にサワラが0.2トン、パッチ網でシラスが59.1トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」～「やや高め」の21～22℃台、日和佐地先で「平年並み」の21～22℃台で推移する見込み。